

公益財団法人 仁科記念財団
第9回 運営会議・運営諮問委員会 議事次第

日 時：2024年2月15日（木）17:30~19:00
形 式：WEB会議（by Zoom）

議長：理事長

1. 開会

2. 報告事項（矢野総務担当理事）

- ① 2月6日17:30より、理事長・常務理事会をオンラインで開き、2024年4月から任期2年の仁科記念賞選考委員（委員長は、現安藤委員長が重任）について案をまとめた。内諾が得られれば、第45回理事会に諮る。また、「仁科記念賞規程」の改正案について、第9回運営会議に諮ることとした。

3. [運営諮問委員会への諮問事項]

- ① 令和6年度（2024年度）事業計画書（案）及び 収支予算書（案）について（資料2）
- ② 特定資産の取り崩し（取り崩し額は収支予算書に記載）について
- ③ 「仁科記念賞規程」の改正について（資料3）
- ④ 仁科記念賞授賞式の式次第について（資料4）
- ⑤ 仁科記念賞賞状の「君付け」について（資料5）
- ⑥ 「仁科記念室史料に関する財団と理研の協定」の進捗状況について（資料6）

[運営諮問委員会] 議長：永長直人委員長

議題 1. 前回議事録（案）の確認（資料1）

議題 2. ①、②について：矢野常務理事、松林事務局長（資料2）

議題 3. ③について：理事長（資料3）

議題 4. ④について：藤川常務理事（資料4）

議題 5. ⑤について：早野常務理事（資料5）

議題 6. ⑥について：早野常務理事（資料6）

4. 次回日程 その他

3月11日（月）第45回理事会（オンライン）：議案は以下の通り。

- ① 令和6年度（2024年度）事業計画書及び収支予算書の承認の件
- ② 特定資産を取り崩す件
- ③ 次期仁科記念賞選考委員の選任の件
- ④ 仁科記念賞規程の改正の件

- ⑤ 令和 6 年度（2024 年度）の資金調達および設備投資の予定について
- ⑥ 松林孝昭事務局長の重任の件

5. 閉会、

公益財団法人 仁科記念財団
第 8 回 運営諮問委員会 議事録（案）

日 時：2024 年 1 月 30 日（火）17:30~18:00
場 所：日本アイソトープ協会 第3会議室
形 式：ハイブリッド（Zoomによる出席あり）

出 席：（下線は、Zoomによる出席）

運営諮問委員（委員現在数 7 名）出席者 4 名：

永長直人、中畑雅行、藤澤彰英、森初果

理事：

梶田隆章、早野龍五、藤川和男、矢野安重、安藤恒也、家泰弘、上菘義朋、佐々木節、
須藤靖、十倉好紀

監事：

荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：

永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：

松林孝昭

議長：梶田隆章理事長

1. 開会

2. [理事長・事務局等報告]

- ① 12月27日、理事長・常務理事会をオンラインで開き、①仁科記念賞選考委員の交代、②常務理事の役目、について意見交換した。①について：第8回運営会議の前に、安藤選考委員長を交えて新選考委員案を策定する、②について：仁科記念講演会と仁科記念賞授賞式の司会は、それぞれの担当常務理事が務める、こととした。
- ② 1月12日、矢野総務担当常務理事が中村道治評議員（科学技術振興機構顧問）とオンラインで、「仁科記念財団賛助会員の拡大策」について会談した。
- ③ 1月15日～1月30日「理研板橋分所展」が板橋区立中央図書館で開催された。仁科記念財団は「特別協力者」として参画。以下は、HPと展覧会の写真集
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/bunkazi/1021974/1049543.html>
<https://www.nishina-mf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/01/Itabaashi-scaled.jpg>
- ④ 2月19日(月) 22:00～22:45 に NHK「映像の世紀バタフライエフェクト ～マンハッタン計画～」が放映される。番組では「仁科博士の顔写真」と「欧州留学中の同僚との写真」が

紹介され、エンドロールに資料提供：仁科記念財団とクレジットが入る。

- ⑤ 1月26日、梶田理事長、藤川常務理事、早野常務理事、矢野常務理事、安藤選考委員長がオンライン会議を開き、次期仁科記念賞選考委員候補案と選考委員規程（選考委員の候補推薦）について議論した。
- ⑥ 【訃報】助言委員の矢崎裕二先生が2023年12月13日に永眠された。享年83歳。
- ⑦ 早野常務理事より仁科記念室史料に関する理研との協定について「前回の運営諮問委員会の後、令和元年9月18日に財団から理研に提出した寄附申込書に『寄附した物品の活用方法等は、国立研究開発法人理化学研究所に一任致します。』と書かれていることが確認された。また、財団に、仁科先生の文化勲章を含む12点の有体物が残っていることも明らかになった。これらを受けて、協定書をどのように書くべきか、早稲田大学の上野教授と伊藤監事と協議を進めている」との報告があった。

3. [運営諮問委員会への諮問事項]

なし。

[運営諮問委員会] 議長：永長直人委員長

議題 1. 前回議事録（案）の確認（資料）

4. 次回日程 その他

2月15日（木）第9回運営会議・運営諮問委員会（オンラインのみ）

[運営諮問委員会] 3月11日開催の第45回理事会（理事・監事のみオンラインで出席）に諮る、①「2024年度事業計画（案）」「2024年度収支予算（案）」について ② 仁科記念賞規程の改正（選考委員の候補推薦）について ④「仁科記念室史料に関する財団と理研の協定」について

5. 閉会、

公益財団法人 仁科記念財団

令和6年度（2024年度）事業計画書（案）

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第4条に掲げられている通り、故仁科芳雄博士が開拓した原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成です。

令和6年度（2024年度）は、以下の公益目的事業を行います。

（1）仁科記念賞の授与

仁科記念賞は、財団が創立した1955年に第1回が授与されて以来の長い伝統をもち、原子物理学の分野では最も評価の高い賞としてよく知られています。2024年度（第70回）も例年通り、2024年6月1日から8月31日の3ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、応用物理学会誌に仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募します。選考は仁科記念賞規程に則り選考委員会で行い、受賞者には、賞状、賞牌と1件当たり60万円の副賞を授けます。授賞件数は、3件以内とし、選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に発表するとともに、授賞理由を当財団ホームページとアジア太平洋物理学会連合（Association of Asia Pacific Physical Societies: AAPPS）のBulletin上に公表します。本年度の授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の12月6日（金）に学士会館に於いて、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で執り行います。

（2）仁科記念講演会の開催

仁科記念講演会は、社会に原子物理学およびその応用の真髄を知っていただくため、1955年以来毎年、一般の参加を得て開催されてきています。本年度は、第70回の定例講演会を開催します。

（3）仁科記念室史料の保管・整理・公開

理化学研究所へ寄贈した「仁科記念室」史料の整理を当該研究所の広報室・記念史料室に協力して進めるとともに、保管されている写真、書簡、論文等を電子化して、当財団ホームページの「デジタル仁科記念室」で逐次公開します。

（4）出版物刊行

「仁科記念財団案内2024年6月」を出版します。また、仁科記念講演会の講演録や講演録画などとともに、当財団がこれまで冊子体として刊行してきたものを電子化してホームページの「出版および史料研究調査」に公開します。

(5) 優秀な人材の外国からの招聘

2013 年度に創設した「仁科アジア賞」は、所期の目的を達成したため、一昨年度の第 10 回をもって終了しました。

本年度は、コロナ禍のために招聘を延期してきた受賞者 2 名（2020 年度の Dr. Ying Jiang, Boya Distinguished Professor, International Center for Quantum Materials, School of Physics, Peking University, China と 2021 年度の Dr. Wang Yao , Chair Professor, Department of Physics, the University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China）を受賞講演のため、それぞれ約 1 週間、招聘します。

仁科記念賞規程新旧対照表

(新)	(旧)
<p style="text-align: center;">仁科記念賞規程</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、公益財団法人仁科記念財団（以下「本財団」という）の定款第4条第1項の規程に基づき、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において、きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞の授与の実施に関する事項を定める。</p> <p>(仁科記念賞)</p> <p>第2条 仁科記念賞は、賞状と賞牌および副賞とし、副賞は1件当たり600千円とする。</p> <p>2 仁科記念賞は、原則として毎年3件以内とする。</p> <p>(推薦の受付)</p> <p>第3条 本財団は、仁科記念賞候補者募集要項を公表し、広く学識者からの推薦を公募する。</p> <p>2 公募期間は、毎年6月1日から8月31日の3ヶ月間とする。</p> <p>(選考委員会の構成)</p> <p>第4条 受賞者の選考を行うため、本財団の定款第47条第2項第1号に基づき、選考委員会を置く。</p> <p>2 選考委員は、物理学および関連分野において秀でた業績を挙げかつ卓越した洞察力のある者のうちから理事会が選任し、</p>	<p style="text-align: center;">仁科記念賞規程</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、公益財団法人仁科記念財団（以下「本財団」という）の定款第4条第1項の規程に基づき、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において、きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞の授与の実施に関する事項を定める。</p> <p>(仁科記念賞)</p> <p>第2条 仁科記念賞は、賞状と賞牌および副賞とし、副賞は1件当たり600千円とする。</p> <p>2 仁科記念賞は、原則として毎年3件以内とする。</p> <p>(推薦の受付)</p> <p>第3条 本財団は、仁科記念賞候補者募集要項を公表し、広く学識者からの推薦を公募する。</p> <p>2 公募期間は、毎年6月1日から8月31日の3ヶ月間とする。</p> <p>(選考委員会の構成)</p> <p>第4条 受賞者の選考を行うため、本財団の定款第47条第2項第1号に基づき、選考委員会を置く。</p> <p>2 選考委員は、物理学および関連分野において秀でた業績を挙げかつ卓越した洞察力のある者のうちから理事会が選任し、</p>

仁科記念賞規程新旧対照表

<p>理事長が委嘱する。</p> <p>3 理事長及び常務理事は、選考委員となることができない。</p> <p>4 選考委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、原則として連続3期を越えないものとする。</p> <p>5 選考委員会には選考委員長（以下、「委員長」という）を置き、選考委員のうちから理事会において選出する。</p> <p>(選考委員会)</p> <p>第5条 選考委員会は、必要に応じて委員長が随時召集する。</p> <p>2 選考委員会は、選考委員の過半数の出席によって成立する。ただし、議題につき、書面をもってあらかじめ意見を表明した選考委員は出席したものとみなす。</p> <p>3 <u>選考委員は、候補者を推薦することができない。また、推薦された候補者の協力者である場合、その他特別の利害関係がある場合には、当該候補者の審議及び議決に加わることができない。</u></p> <p>4 選考委員会は、非公開とする。</p> <p>5 選考の準備等のため、委員長および委員長が選定する選考委員からなる選考小委員会を置くことができる。選考小委員会は、委員長が随時召集する。</p> <p>(選考結果)</p> <p>第6条 委員長は、受賞者および授賞理由を文書にて理事会に報告する。</p> <p>2 理事会は、前項の選考結果の報告に基づき、受賞者を決定す</p>	<p>理事長が委嘱する。</p> <p>3 理事長及び常務理事は、選考委員となることができない。</p> <p>4 選考委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、原則として連続3期を越えないものとする。</p> <p>5 選考委員会には選考委員長（以下、「委員長」という）を置き、選考委員のうちから理事会において選出する。</p> <p>(選考委員会)</p> <p>第5条 選考委員会は、必要に応じて委員長が随時召集する。</p> <p>2 選考委員会は、選考委員の過半数の出席によって成立する。ただし、議題につき、書面をもってあらかじめ意見を表明した選考委員は出席したものとみなす。</p> <p>3 選考委員は、推薦された候補者の協力者である場合、その他特別の利害関係がある場合には、当該候補者の審議及び議決に加わることができない。</p> <p>4 選考委員会は、非公開とする。</p> <p>5 選考の準備等のため、委員長および委員長が選定する選考委員からなる選考小委員会を置くことができる。選考小委員会は、委員長が随時召集する。</p> <p>(選考結果)</p> <p>第6条 委員長は、受賞者および授賞理由を文書にて理事会に報告する。</p> <p>2 理事会は、前項の選考結果の報告に基づき、受賞者を決定する。</p>
--	--

仁科記念賞規程新旧対照表

<p>る。</p> <p>3 選考結果はすみやかに公表するものとする。 (選考委員の責務)</p> <p>第7条 選考委員は、受賞者の選考を公正に行い、選考の過程および内容並びに選考委員の職務上知り得た秘密については他にもらしてはならない。</p> <p>(授賞式)</p> <p>第8条 本財団は、毎年12月6日(仁科芳雄博士の誕生日)またはその前後の日に、授賞式を行う。また、その機会に過去の受賞者を含めた研究交流の懇談会を行う。</p> <p>(改廃)</p> <p>第9条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、2011年9月1日から施行する。</p> <p>2011年4月1日 制定 2011年9月1日 一部改正 2020年3月24日 一部改正 2024年3月11日 一部改正</p>	<p>3 選考結果はすみやかに公表するものとする。 (選考委員の責務)</p> <p>第7条 選考委員は、受賞者の選考を公正に行い、選考の過程および内容並びに選考委員の職務上知り得た秘密については他にもらしてはならない。</p> <p>(授賞式)</p> <p>第8条 本財団は、毎年12月6日(仁科芳雄博士の誕生日)またはその前後の日に、授賞式を行う。また、その機会に過去の受賞者を含めた研究交流の懇談会を行う。</p> <p>(改廃)</p> <p>第9条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、2011年9月1日から施行する。</p> <p>2011年4月1日 制定 2011年9月1日 一部改正 2020年3月24日 一部改正</p>
--	--

仁科記念賞授賞式式次第（案）

1. 記念撮影 受賞者と同伴者、理事長、選考委員長、評議会議長、常務理事等
2. 理事長挨拶（18時開会、約3分） （司会 仁科記念賞担当常務理事）
3. 仁科賞選考委員長選考報告（「業績概要」に基づき仕事の内容がわかる程度に約5分から10分。受賞者数による。）
4. 理事長による賞状およびメダル授与
5. お祝いの挨拶と乾杯の音頭 参加者の中から理事長および常務理事が選ぶ （司会 講演会担当常務理事）
6. 祝賀会途中の挨拶 参加者の中から理事長および常務理事が選ぶ
7. 祝賀会の閉会 7時半から8時ごろ （司会 総務担当常務理事）

- ① 受賞者は（各件あたり）3名以内の同伴者以外の関係者を授賞式に招待することができる。招待する方々の氏名を前もって事務局に知らせていただく。
- ② 授賞式の受付では、受賞者の業績概要、参加者名簿および名札を用意する。
- ③ 授賞式への招待者の名簿は、理事長および常務理事全員が目を通して適宜更新する。
- ④ 祝賀会は基本的に立食形式にする。ただし十分な数の椅子を用意する。
- ⑤ 授賞式の会場の選択は運営諮問委員会等の議論を参考にして決める。
- ⑥ 授賞式会場の設営は、総務担当常務理事が事務局を指揮して行う。

仁科記念賞賞状の「君付け」について

このたび、東京大学が

【東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン】を出し、その中で「授業では性別による呼び分けを止めることを推奨する」と書かれるなど、世の中が大きく変化しています。

そのような変化があるので、仁科記念賞の賞状などに「君」と書くことについても、次第に世の中の理解が得られなくなることが危惧されます。

「君」は伝統ではありますが、継続するか見直すか、一度議論したらいかがでしょう？

寄 附 申 込 書

令和元年9月18日

国立研究開発法人理化学研究所 殿

(申込者)

住所 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 45 号

機関名(氏名) 公益財団法人 仁科記念財団

理事長 小林 誠

電話 03-3942-1718



次のとおり物品を寄附したいので申込みます。

尚、寄附した物品の活用方法等は、国立研究開発法人理化学研究所に一任致します。

1 寄附物品 別紙 寄附物品内容証明書のとおり

以 上

寄附物品内容証明書

令和元年9月18日

国立研究開発法人理化学研究所 殿

寄附申請書に基づき下記のとおり内容記載します。

記

品名： 別紙のとおり

規格： 同上

数量： 同上

取得金額： 同上

取得年月： 同上

簿価評価額： 別紙のとおり

※簿価等評価額が明らかな場合に記載してください。(不明な場合は省略可)

上記内容に相違ないことを証明いたします。

住所 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 45 号

機関名(氏名) 公益財団法人 仁科記念財団

理事長 小林 誠



寄附物品内容内訳

No.	管理番号等	物品名・規格	数量	取得年 月	取得金額	簿価評価 額
1		木製キャビネット	5台			
2		スチールキャビネット	3台			
3		木製書棚（引出付き）	2台			
4		木製書棚	4台			
5		スチール書棚	7台			
6		執務机	2セット			
7		事務用台	2台			
8		プラスチック製小物収納	2台			
9		応接セット（テーブル・椅子・ソファ）	一式			
10		踏台	1台			
11		譜面台（書見台）	1基			
12		椅子	2脚			
13		黒板（複製）	1基			
14		ラジオ	1基			
15		傘立て兼コートハンガー	1基			
16		衝立	1基			
17		灰皿	1基			
18		照明・照明用傘予備	6点			
19		扉	1枚			
20		ウラン原石	1個			

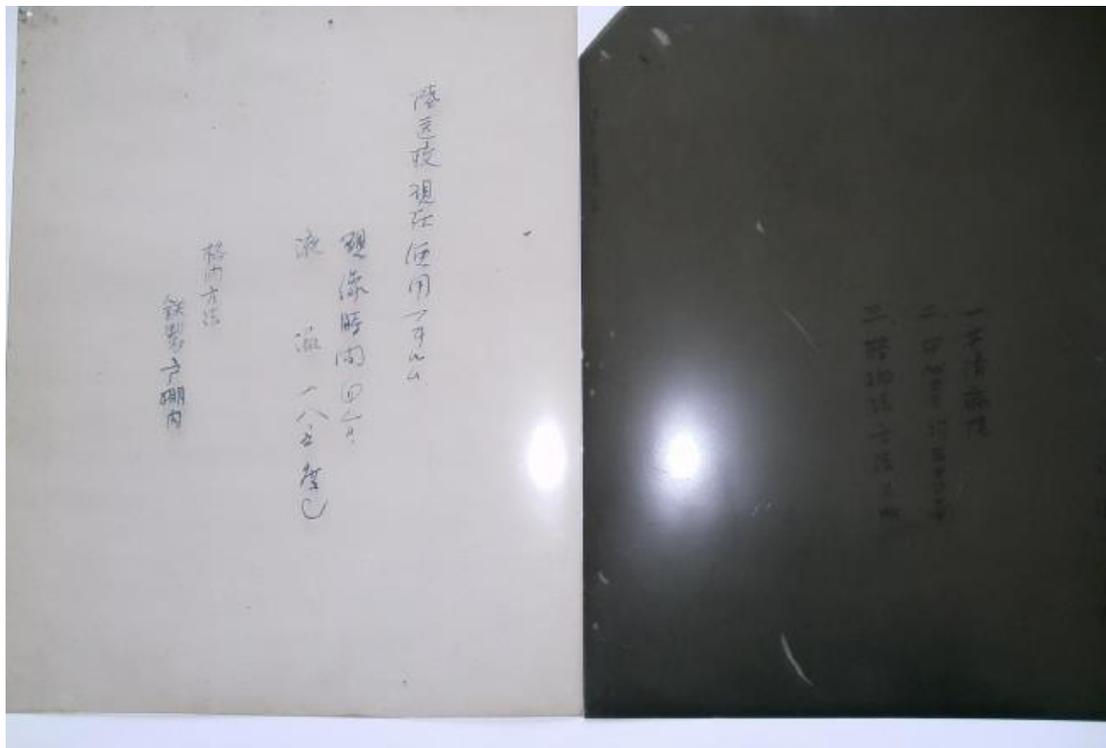
No.	管理番号等	物品名・規格	数量	取得年月	取得金額	簿価評価額
21		仁科研究室研究資料	23 箱			
22		仁科研究室事務文書及び事務書簡	16 箱			
23		仁科研究室記録写真	1 冊			
24		仁科芳雄収集 人名簿	1 箱			
25		仁科研究室研究施設等資料	11 箱			
26		仁科芳雄書簡カーボンコピー	1 箱			
27		仁科研究室及び財団法人理化学研究所関連資料	9 箱			
28		株式会社科学研究所運営関連資料	6 箱			
29		仁科芳雄公務資料・書簡	25 箱			
30		仁科研究室発行書籍	2 箱			
31		仁科研究室研究用書籍	113 箱			
32		仁科研究室収集雑誌	11 箱			
33		仁科研究室文具	5 箱			
34		ガラス乾板	1 箱			
35		装置・装飾品	10 点			
36		仁科芳雄執務机周辺文具	14 箱			
37		仁科研究室解説パネル	6 枚			
38		仁科研究室 研究試薬瓶	4 本			
39		仁科芳雄写真 (額)	4 面			
40		仁科芳雄関連書籍 (参考図書)	20 箱			

※「管理番号等」、「取得年月」、「取得金額」、「簿価評価額」は不明。

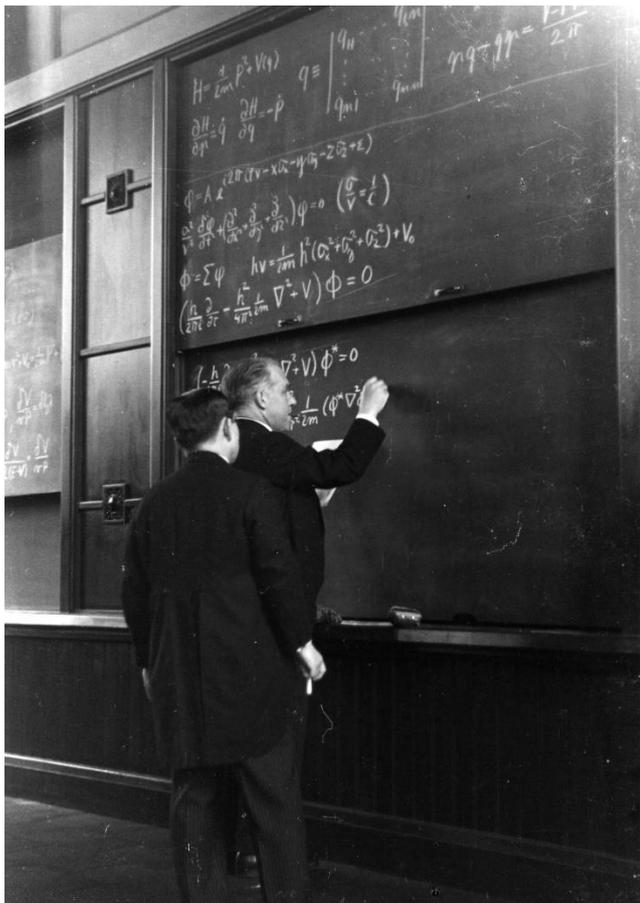
「数量」の箱数は段ボール箱 (32×44×31) に換算したおよその容量を示す。

仁科記念財団所蔵「仁科記念室」史料 画像

1. 原爆調査 レントゲンフィルムとレントゲン写真撮影架台
(右と下: 広島日赤病院にて)



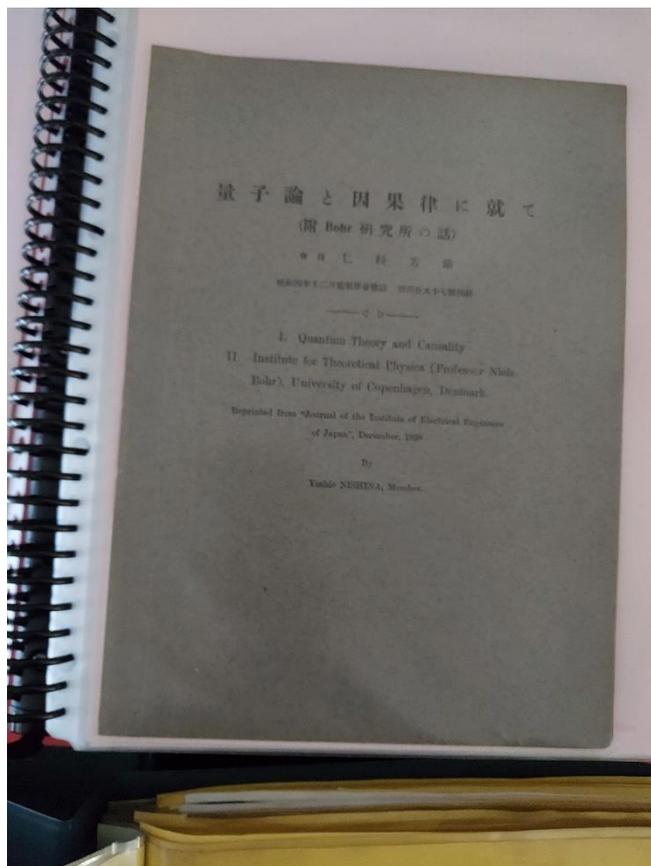
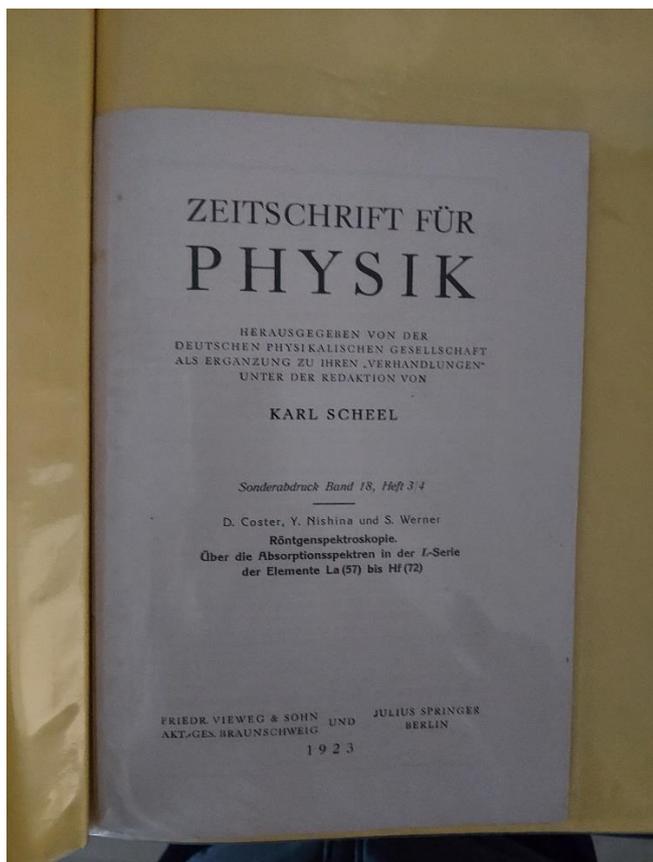
2. ボーア来日講義ネガ(鳩山氏) 39枚



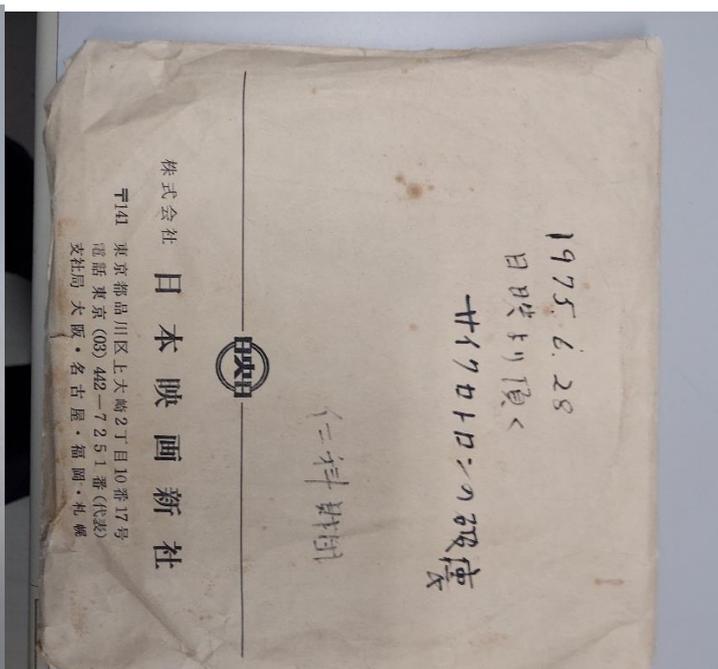
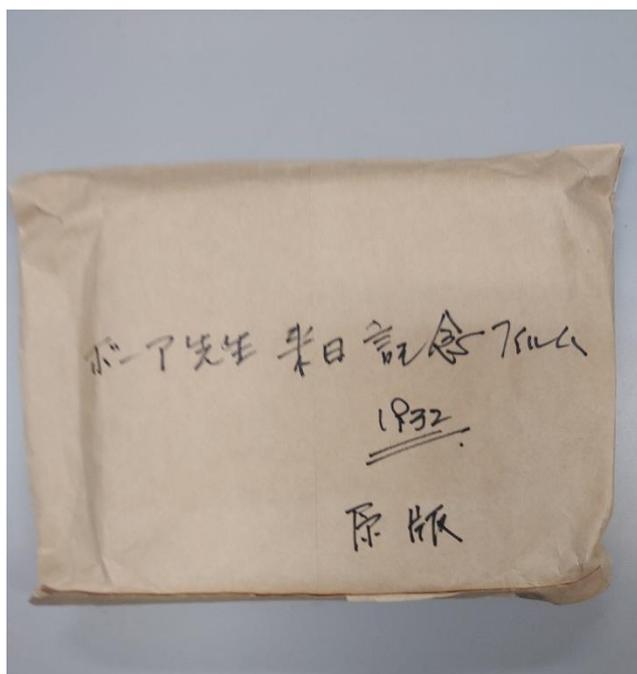
3. 「往復書簡集」 全原本コピー(矢崎裕二先生)



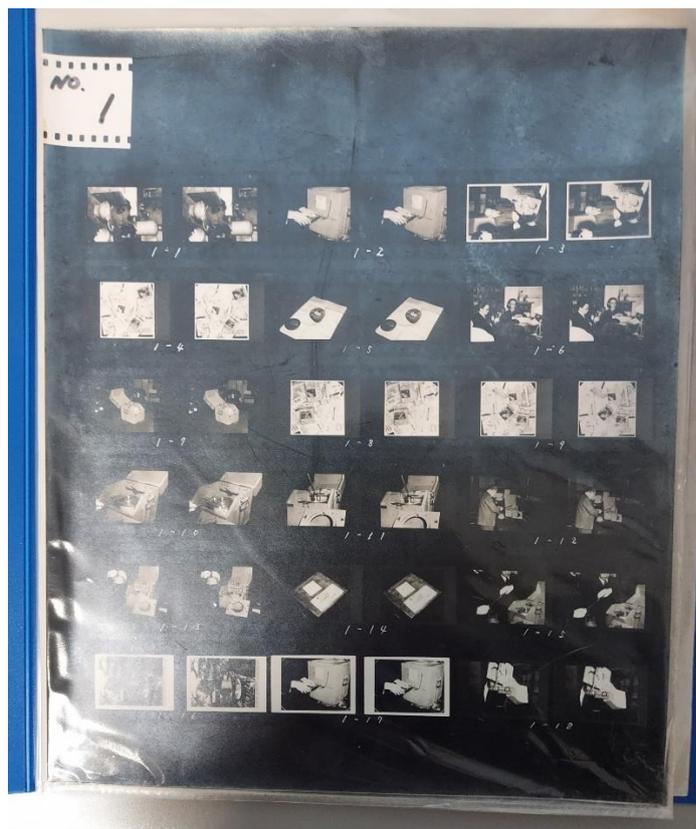
4. 仁科博士論文別刷り集（独英文）（和文）



5. ビデオフィルム

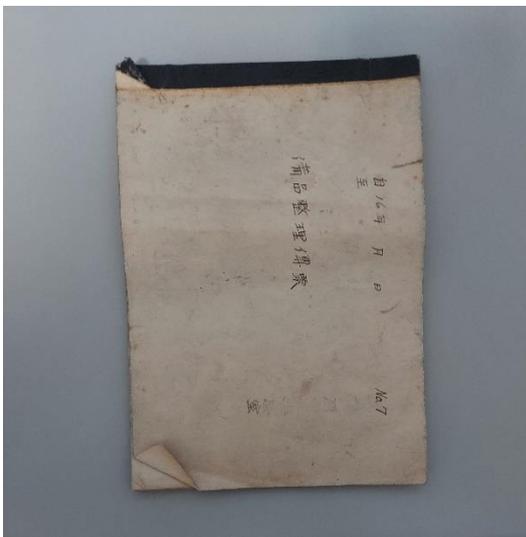


6. 写真ポジ集 (18×22 枚)

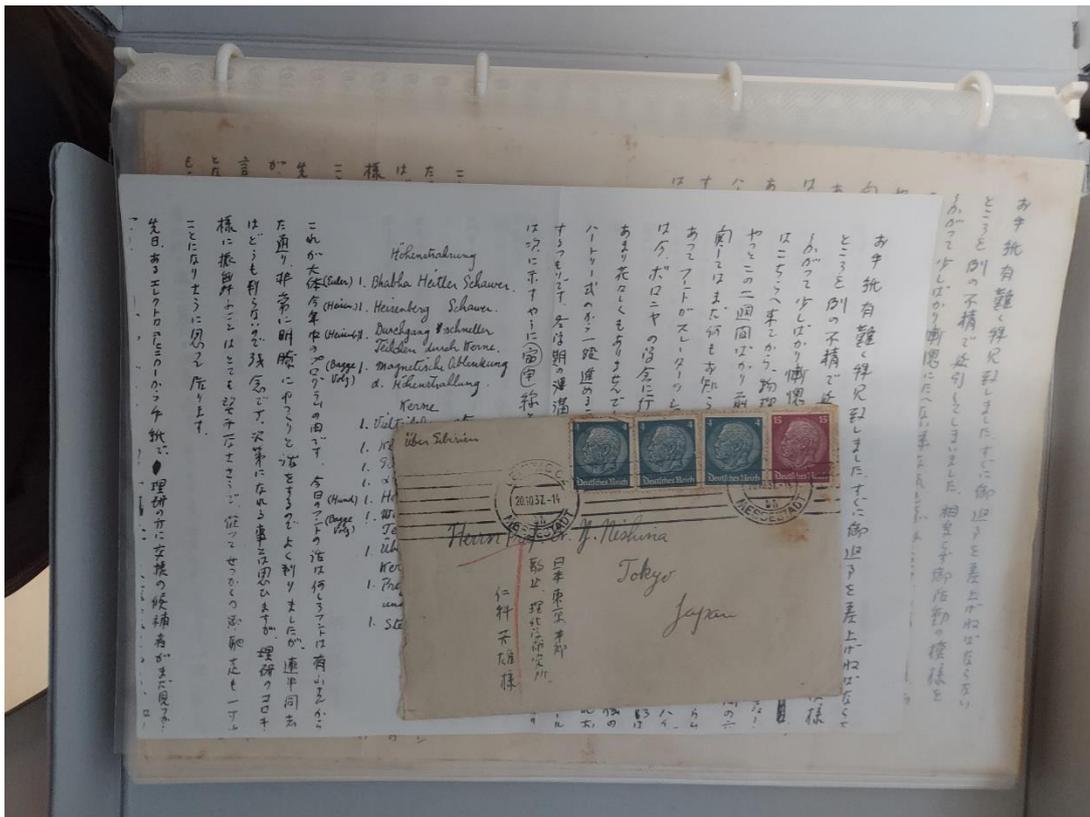


7. 仁科研究室帳簿

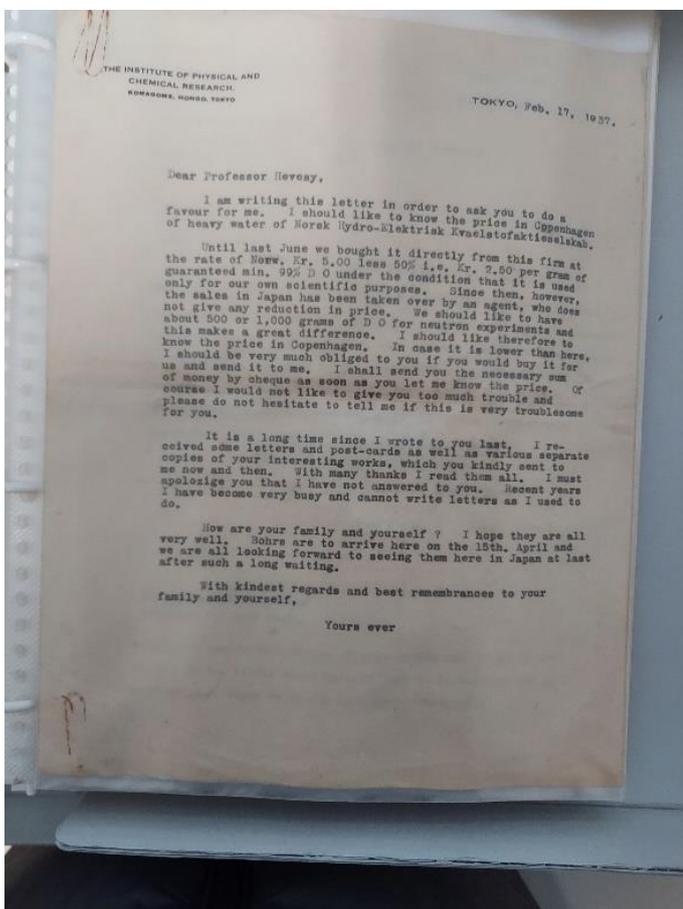
月日	摘要	借入金	手種金	貸付残高
昭和17年				
4/27	航空技術	44,000.00		44,000.00
5/26		112,500.00		156,500.00
6/26	探検工事	90,000.00		246,500.00
7/23	佐野院	90,000.00		336,500.00
昭和18年				
5/10	陸軍航空本部	16,000.00		16,000.00
7/20	陸軍航空本部	47,500.00		63,500.00
昭和19年				
4/27	陸軍航空本部	100.00		100.00
5/27	陸軍航空本部	7,500.00		8,000.00
6/27	陸軍航空本部	2,000.00		10,000.00
8/20	陸軍航空本部	100.00		10,100.00
6/12	航空本部	308,483.28		318,583.28
6/24	陸軍航空本部	1,600.00		320,183.28



10. 朝永振一郎先生との往復書簡集(原本)



11. Hevesy 先生との往復書簡集(原本)



12. 文化勲章（1946年受章）



以上